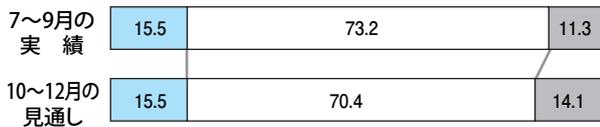




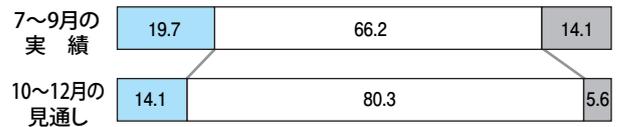
## ■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

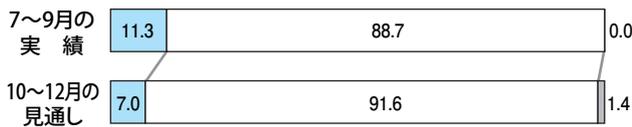
## 【業況】



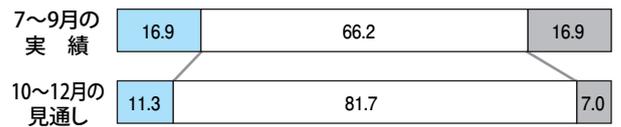
## 【売上額】



## 【原材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 7月~9月期の概況

## 業況判断D.Iは4.2、前期比1.4ポイントの悪化

項目別では、売上額判断D.Iが5.6と前期比横這い、収益判断D.Iは0.0と同9.7ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは5.6、前期比1.4ポイント改善、同収益判断D.Iは2.8、同1.4ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.5と前期比1.1ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは11.3と前期比5.7ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.7%（前期34.7%）、「予定あり」が19.7%（前期23.6%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.7%（前期16.7%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が25.4%、「人手不足」が23.9%、「売上の停滞・減少」が22.5%と上位に挙げられました。

## 10月~12月期の見通し

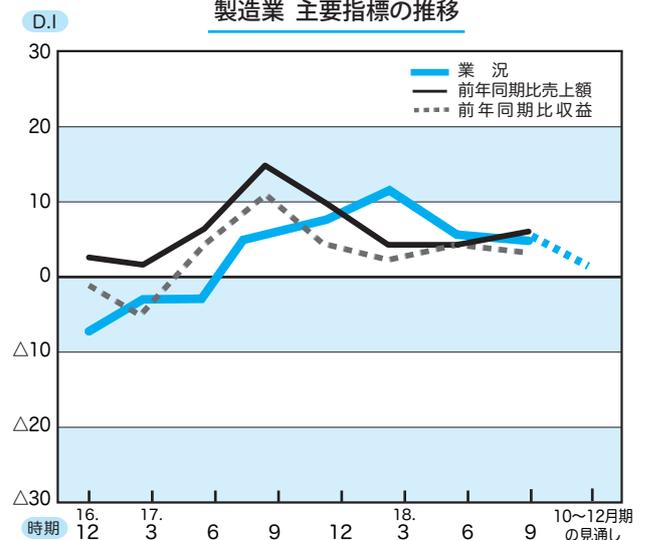
## 業況の見通し判断D.Iは1.4、当期実績比2.8ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.9ポイント、収益判断D.Iでも同4.2ポイント改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4ポイント改善、残業時間D.Iは同5.7ポイント減少の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が54.9%、「経費の節減」が52.1%、「人材を確保する」が29.6%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



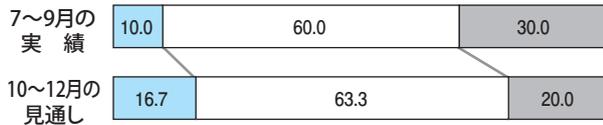
調査員のコメントから

原材料価格の上昇に加え、円安の影響による為替差損が収益を圧迫している。

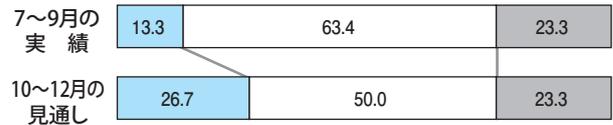
## ■ 卸 売 業

回答企業数30企業(回答率90.9%)

## 【業 況】



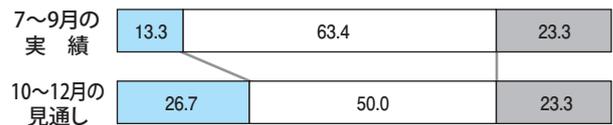
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 7月~9月期の概況

## 業況判断D.Iは△20.0、前期比1.2ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△10.0と前期比5.2ポイント、収益判断D.Iも△10.0と同8.8ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△10.0、前期比7.0ポイント、同収益判断D.Iも△10.0、同0.9ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.3と前期比10.9ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.3と同6.1ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が30.0%（前期18.2%）、「予定あり」が23.3%（同25.0%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は16.7%（前期12.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が33.3%、「同業者間の競争激化」が30.0%、「利幅の縮小」が26.7%と上位に挙げられました。

## 10月~12月期の見通し

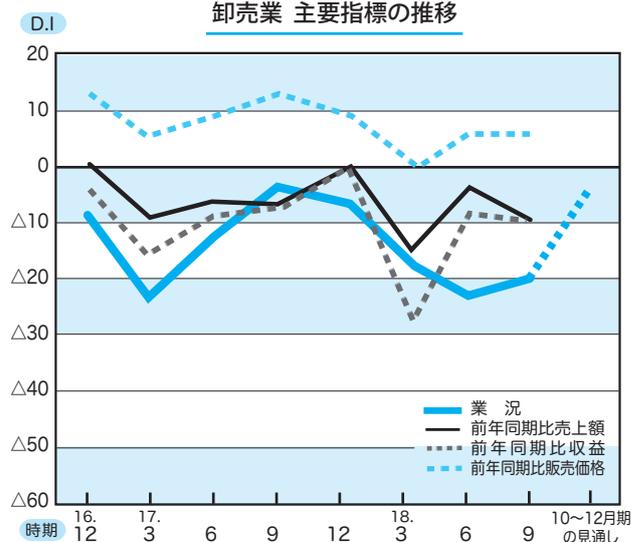
## 業績の見通し判断D.Iは△3.3と当期実績比16.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.7ポイント、収益判断D.Iでも同6.7ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比3.4ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.4ポイント低下で、やや不足感が見込まれ、残業時間判断D.Iは6.7ポイント増加見込みとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が80.0%、「経費の節減」が43.3%、「情報力の強化」も33.3%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



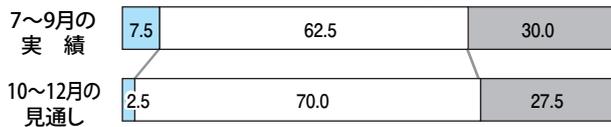
## 調査員のコメントから

仕入価格が上昇傾向にあるため、過剰在庫の見直しを図るなど、経費削減に努める必要がある。

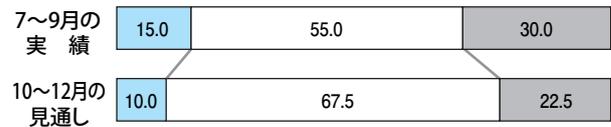
## ■ 小 売 業

回答企業数40企業(回答率97.6%)

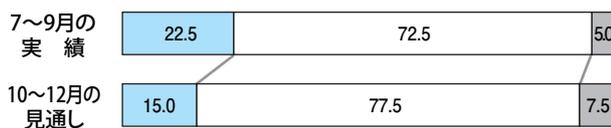
## 【業 況】



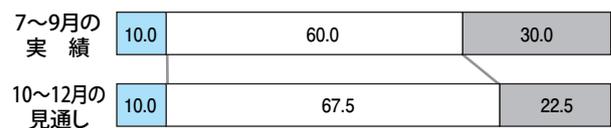
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 7月~9月期の概況

## 業況判断D.Iは△22.5、前期比11.6ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△15.0と前期比0.4ポイントの低下、収益判断D.Iは△20.0と同6.8ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△12.5、前期比7.0ポイント、同収益判断D.Iは△20.0、同2.0ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.5と前期比7.0ポイント改善し、人手不足感が縮小しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と適正となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が25.0%（前期22.0%）、「予定あり」が12.5%（前期14.6%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は2.5%（前期4.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争激化」が共に42.5%、「大型店との競争激化」が27.5%と上位に挙げられました。

## 10月~12月期の見通し

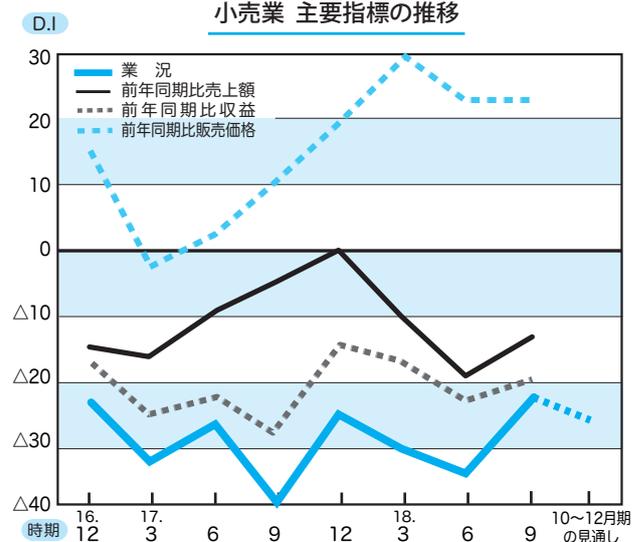
## 業況の見通し判断D.Iは△25.0、当期実績比2.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.5ポイント、収益判断D.Iでも同7.5ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比10.0ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比2.5ポイント改善、残業時間判断D.Iは同2.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.0%、「品揃えを改善する」が32.5%、「売れ筋商品の取扱」が22.5%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



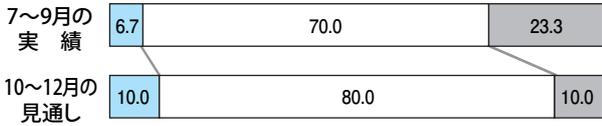
## 調査員のコメントから

大型店等との競争激化により売上が伸び悩んでいる状況であるが、定番商品の品切れ防止チェックや賞味期限の厳格管理、廃棄前の見切り販売により、ロスを削減し利益率の改善に取り組んでいる。

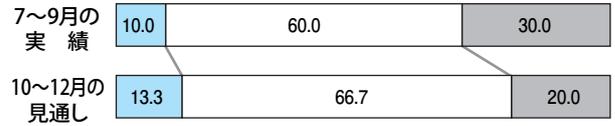
■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)

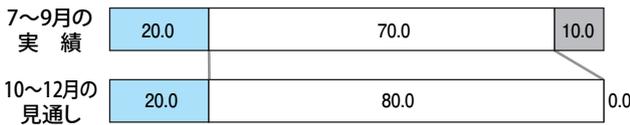
【業況】



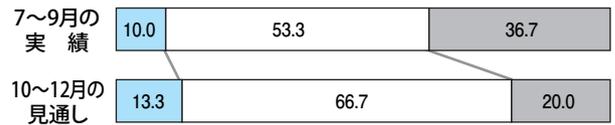
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

7月~9月期の概況

業況判断D.Iは△16.7、前期比13.4ポイントの悪化

項目別では、売上額判断D.Iが△20.0、前期比20.0ポイント、収益判断D.Iでも△26.7と同16.7ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△6.7、前期比6.7ポイント、同収益判断D.Iでも△16.7、同13.4ポイント共に低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.0と前期比3.3ポイント悪化し、人手不足感がわずかに増加しました。また、前期比残業時間D.Iは△10.0と前期比6.7ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が13.3%（前期16.7%）、「予定あり」が3.3%（前期10.0%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は13.3%（前期13.3%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が40.0%、「利幅の縮小」が23.3%、「売上の停滞・減少」・「材料価格の上昇」がそれぞれ20.0%と上位に挙げられました。

10月~12月期の見通し

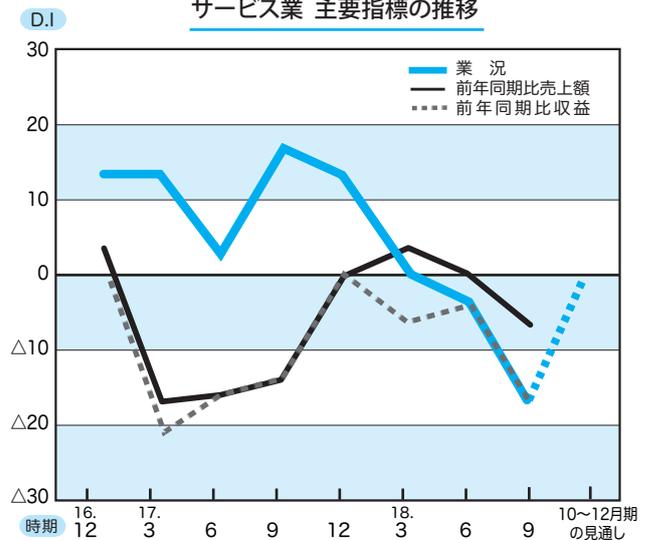
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期比16.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比13.3ポイント、収益判断D.Iでも20.0ポイント共に改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比10.0ポイントの上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比6.7ポイント、残業時間判断D.Iも16.7ポイントの改善見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が50.0%、「販路を広げる」が26.7%、「技術力の強化」・「宣伝・広告の強化」が20.0%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



調査員のコメントから

前期比、売上高・利益共に減少傾向にあるが、強みである地域密着を活かし、販路を広げることに重点を置き、日々業務に取り組んでいる。

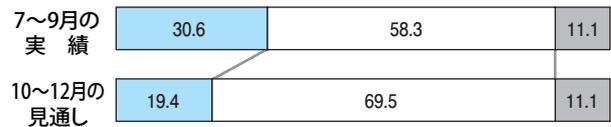
## ■ 建設業

回答企業数36企業(回答率100%)

## 【業況】



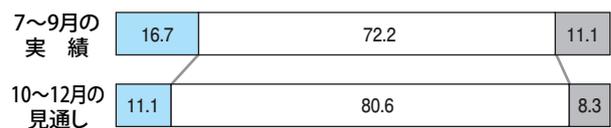
## 【売上額】



## 【材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 7月~9月期の概況

## 業況判断D.Iは13.9、前期比0.4ポイントの悪化

項目別では、売上額判断D.Iが19.4と前期比13.7ポイント改善、受注残判断D.Iは22.2と同25.1ポイント上昇しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは8.3、前期比5.4ポイント、同収益判断D.Iでも同2.6ポイント共に改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△33.3と前期比3.8ポイントわずかに改善しましたが、まだ、人手不足感が残ります。また、前期比残業時間D.Iは△8.3と前期比2.6ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8%（前期34.3%）、「予定あり」が19.4%（前期22.9%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は8.3%（前期5.7%）となりました。

経営上の問題点では「人手不足」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ44.4%、「利幅の縮小」が30.6%と上位に挙げられました。

## 10月~12月期の見通し

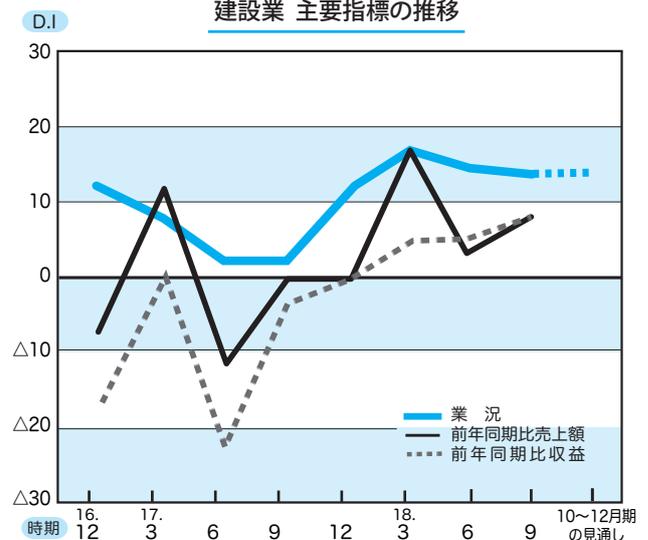
## 業況の見通し判断D.Iは13.9、当期比横這いの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1ポイント、収益判断D.Iでも同2.8ポイント共に悪化を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.3ポイントの下降を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這いで不足感が見込まれます。残業時間判断D.Iは5.5ポイントの改善見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が58.3%、「人材を確保する」が44.4%、「販路を広げる」が41.7%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



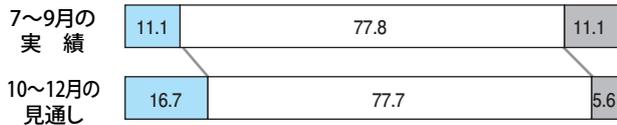
## 調査員のコメントから

ほぼ例年並みの受注を確保。しかし、資材価格の高騰や、受注に対して人員確保が難しいなど問題が山積している。

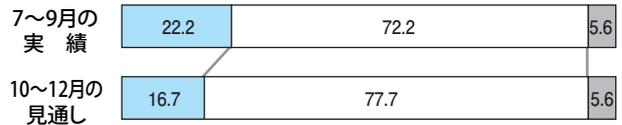
## ■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

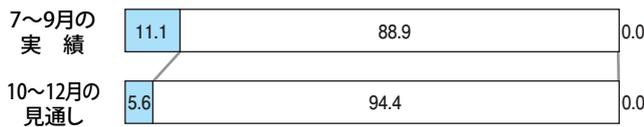
## 【業況】



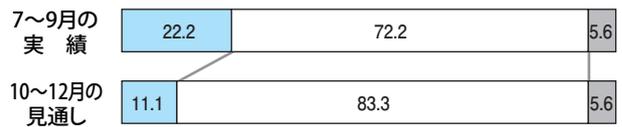
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 7月~9月期の概況

## 業況判断D.Iは0.0、前期比11.1ポイントの悪化

項目別では、売上額判断D.Iが16.7と前期比11.1ポイント、収益判断D.Iでも16.7と同11.1ポイント共に改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△5.6、前期比5.6ポイント、収益判断D.Iでも△5.6、同11.2ポイント共に悪化しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比5.5ポイント改善し、人手不足感が和らぎました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と同11.2ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が33.3%（前期27.8%）、「予定あり」は22.2%（前期22.2%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が33.3%、「同業者間の競争激化」・「大手企業との競争激化」・「利益の縮小」が共に27.8%と上位に挙げられました。

## 10月~12月期の見通し

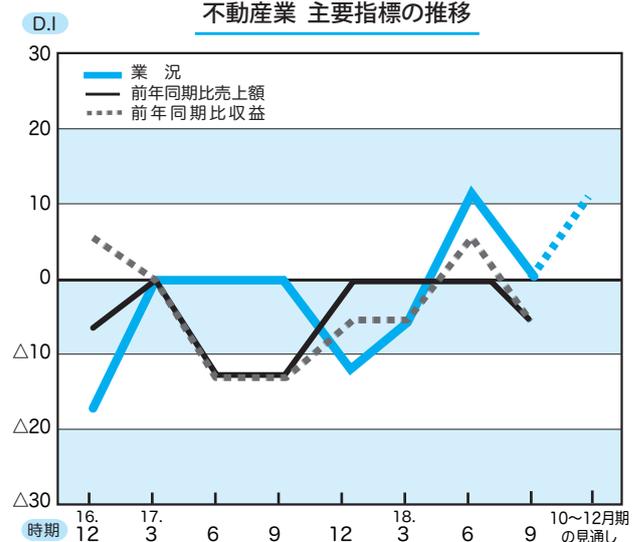
## 業況の見通し判断D.Iは11.1、当期実績比11.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.6ポイント、収益判断D.Iでも同11.1ポイント共に悪化を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横這いを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這い、また、残業時間D.Iも横這いの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が55.6%、「宣伝・広告の強化」が44.4%、「販路を広げる」が38.9%、と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



## 調査員のコメントから

概ね安定した業況推移が見込まれるが、やや商品の不足を感じており、立地条件等を十分勘案し購入計画を立てている。

特別  
調査

## 中小企業経営者と「人生100年時代」について

中小企業経営者と「人生100年時代」について調査を実施しました。

「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、経営者が現役で活躍する年齢は高まっていくものと考えられます。

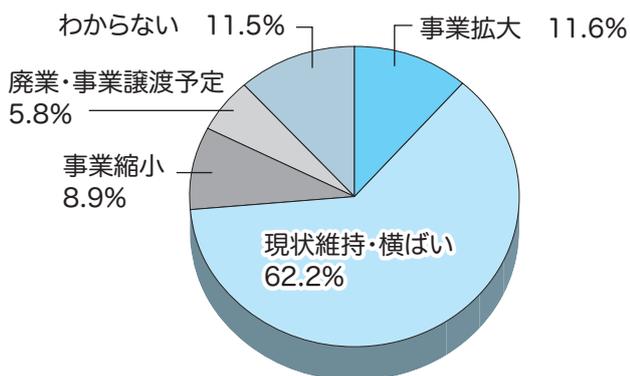
そのような中、社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですかの質問に対し、具体的な年齢の目途がある方では、70～74歳が38.7%と最も高く、次いで75～79歳が22.6%という結果となりました。一方、具体的な年齢の目途はないとされた方で、「後継者に托せるようになるまでは現役」が40.5%で、次いで「健康が続く限り生涯現役」が39.2%でありました。そのほか、社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですかなどについての結果を、次のように取り纏めました。

## 問1

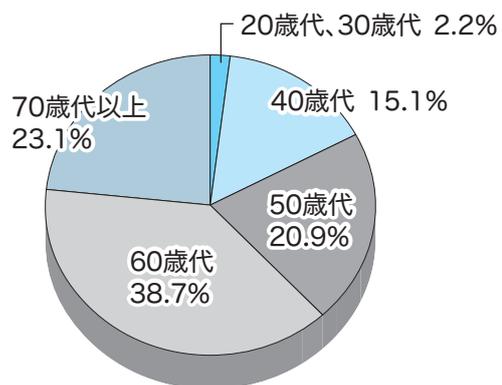
社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を選んでお答えください。

（単位：%）

## 【 10年先の自社の経営展望 】



## 【 社長(代表者)の年齢階層 】

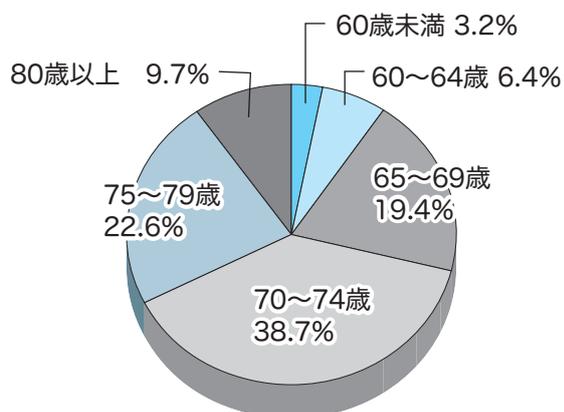


## 問2

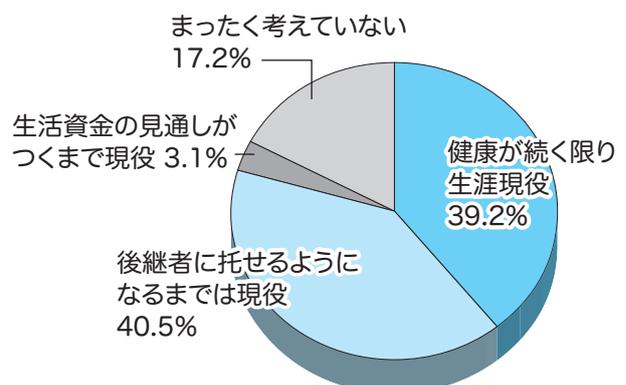
「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、経営者が現役で活躍する年齢は高まっていくものと考えられます。そのような中、社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。

（単位：%）

## 【 具体的な年齢の目途がある 】



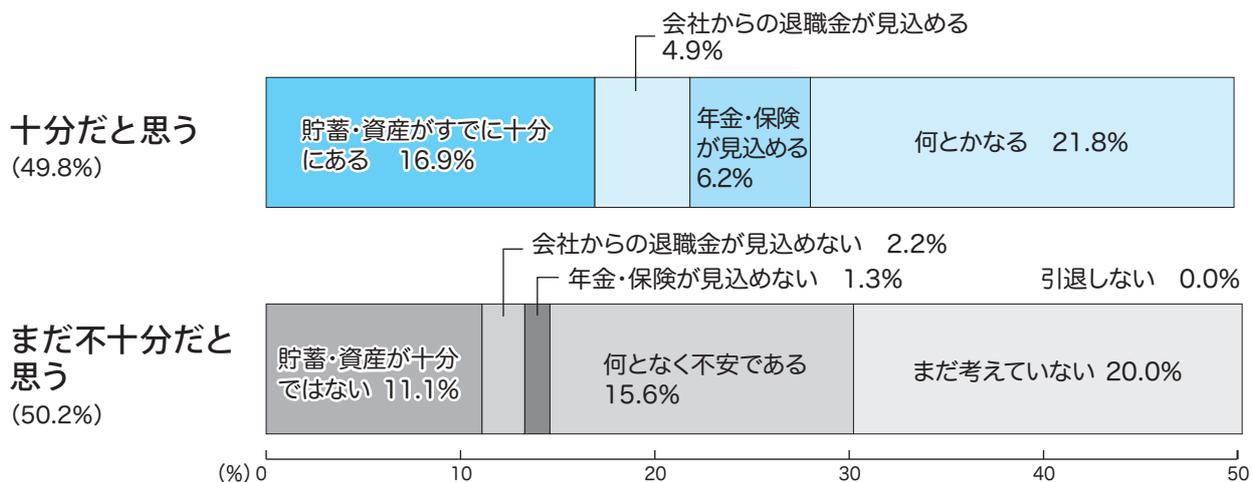
## 【 具体的な年齢の目途はない 】



## 問3

社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

(単位：%)

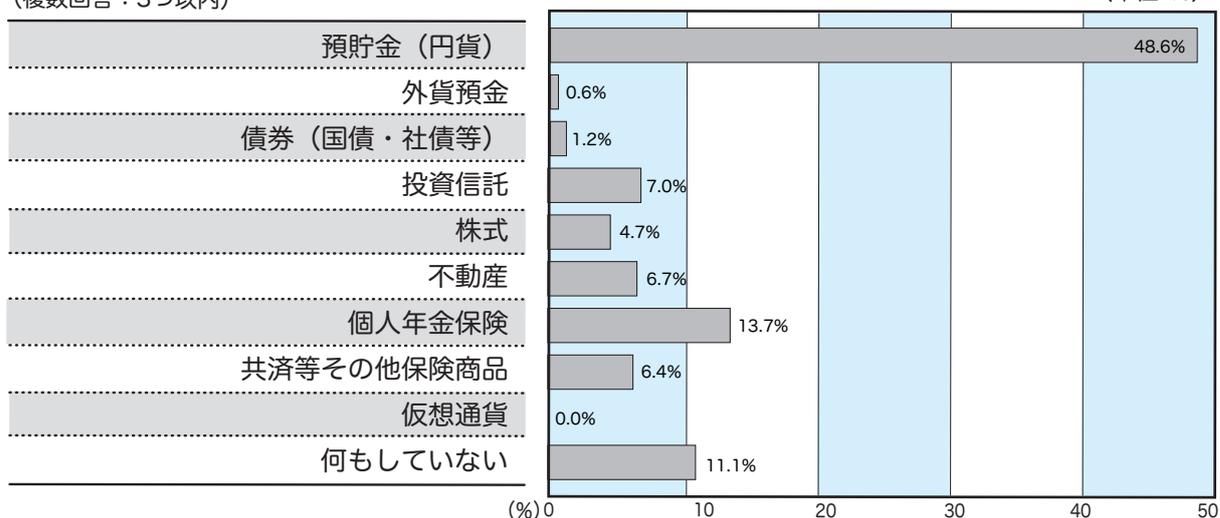


## 問4

「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をいらっしゃいますか。3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答：3つ以内)

(単位：%)

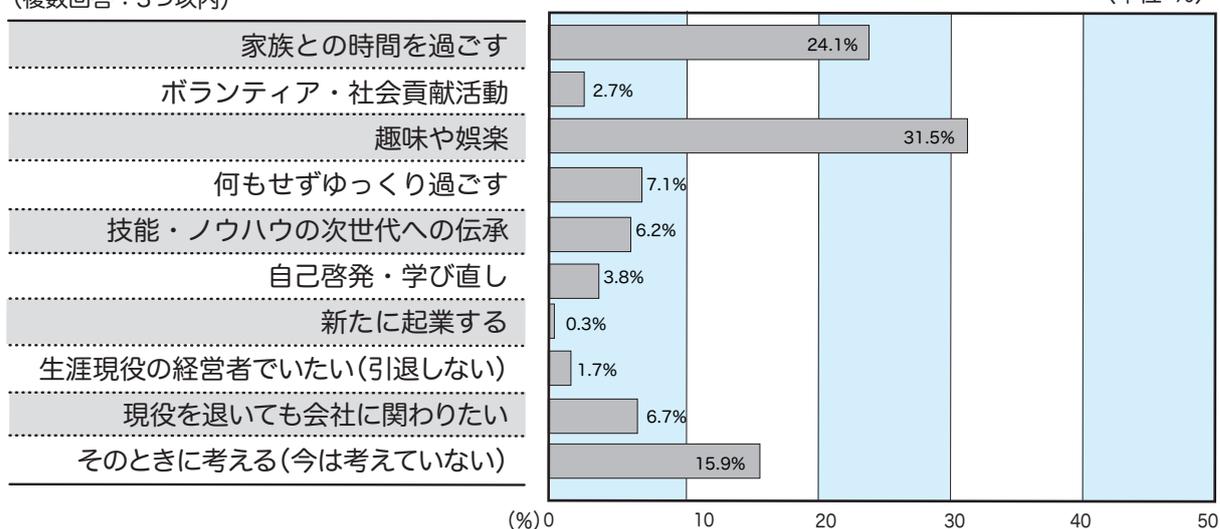


## 問5

「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、現役を退いた後の生活イメージについて、描いているものはありますか。3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答：3つ以内)

(単位：%)



## 地域活性化融資

# 「上昇機運」

短期間の資金もご利用できます。

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、地域の活性化をサポートします。

ご融資：  
金額：最高 5,000 万円

ご融資：  
期間：10 年以内

お取扱期間 平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。  
※取扱内容については、裏面をご覧ください。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414  
Eメール yukisb@intio.or.jp <http://www.shinkin.co.jp/yuki/>